

令和 5 年 5 月 20 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2018～2020

課題番号：18H02291

研究課題名(和文)農村における人材育成エコシステムの構築に向けた実践的研究

研究課題名(英文)Building an ecosystem for human development in rural area

研究代表者

中塚 雅也 (NAKATSUKA, Masaya)

神戸大学・農学研究科・教授

研究者番号：40432562

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、農山村地域の人材(地域づくり人材と地域ビジネス人材)を確保し育成する手法とそれらを包含した地域のエコシステムを解明することを目的とした。

事例分析とアクションリサーチを統合した研究の結果、人材の確保と育成には、既存組織における役割、登用、モチベーションのリデザイン、絶えず補給するパイプラインやプールやプログラム、それらを後押しする公的機関のイニシアティブと支援リレーなどが重要であることを明らかにした。さらに、地域人材の育成が、地域のイノベーションと魅力づくりに繋がり、それが新たな人材確保の源泉となるという循環的な人材育成の仕組みをモデルとして提示した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、地域人材を地域づくりとビジネスの2つに分け、それらの関係性を、地域内外部の人材を包含しつつ整理した上で、その育成方法を具体的に明らかにしたこと、また、人材育成、地域のエコシステムとして捉え、モデル化したところに学術的意義がある。

さらに、研究結果に基づき、地域人材育成方法を9つ手法として用具的に提示し、『地域人材を育てる手法』として書籍化することで、地域の課題解決の一助となることを目指した。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study was to identify methods for securing and fostering human resources for local development and local business in rural areas and to elucidate the local ecosystem that encompasses these human resources.

The results of the study, which integrated case studies and action research, revealed the importance of redesigning roles, appointments, and motivation in existing organizations, the pipeline, the pool, and programs that are constantly replenished, and the initiatives and support relays of public sectors that encourage these efforts. The study also found that the development of local human resources is a key element of the regional human resource development process. Furthermore, we presented a model of a cyclical human resource development mechanism in which the development of local human resources through the implementation of these methods leads to local innovation and attraction, which in turn becomes a source for securing new human resources.

研究分野：農業農村経営学

キーワード：人材育成 エコシステム 地域資源管理 地域ビジネス 地域づくり モチベーション 担い手 農山村

1. 研究開始当初の背景

農山村地域では、人口減少・高齢化が進む中で、地域や農林業の担い手となる人材の枯渇が問題となっている。政府も人に対する直接的に支援する施策を展開するとともに、地方創生の柱として、都市から農山村地域への移住・定住の促進を重点戦略として位置づけている。

地域の人材としては、地域コミュニティの担い手となる地域づくり人材と、ビジネス(農林業を含む)の担い手となる地域ビジネス人材という2つのタイプが想定される。この2つは重なる部分があるが、それぞれ異なる課題をもつ。特に、後者の地域ビジネスの人材育成については、既存の地域産業が縮小するなかで、新しい仕事をどのように創出するか、その担い手をどのように育成・支援するかが課題となるが研究蓄積は少ない。また、かつて農山村地域においては、上向階梯と呼ばれる人材育成の仕組みがあった。しかしながら、地域コミュニティの変容、求められるリーダー像の変化から、地域が有していた人材育成機能は失われつつある。そして外部からの新しい人材には対応できてない。こうした中、地域内外の多様なアクターが協力して地域全体で人材育成と起業を進める仕組み、すなわちエコシステムの再構築が課題となっている。

2. 研究の目的

地域コミュニティと地域産業の衰退が急速に進む農山村地域では、地域の人材の確保と育成が課題となっている。本研究では、地域人材を地域づくり人材と地域ビジネス人材に分け、その育成のためには、どのような方法が有効であるか、また、どのような地域システムが必要であるかを明らかにする。具体的には(1)地域づくり人材およびリーダーの創出・成長のための要件、(2)農村における地域ビジネスの創出・成長の起業家の創出・成長要件の要件、を地域システムとの関係性にて解明するとともに、それらの知見をアクションリサーチと連動させて検証することにより、(3)地域レベルでの多様なアクターによる人材育成システムを、エコシステムとして提示することを目的とした。

3. 研究の方法

本研究では、兵庫県、大分県、島根県をはじめ全国各地の人材育成先進地域を対象とした事例研究を、繰り返し実施することを基本とした。その具体的な調査手法は、インタビュー調査、アンケート調査、参与観察など多様である。対象事例に応じてこれらの調査を組みあわせ、複眼的な分析を行うことにより、地域人材の創出・成長の要件を分析、考察した。

また兵庫県や大分県では、実際に、起業・移住促進のプログラムや地域運営組織の運営に参画し、文献・先進事例分析、実践、評価分析、モデルの修正...を繰り返すアクションリサーチをおこなった。その上で、各地の事例分析の知見をアクションリサーチの知見を体系化し、地域人材育成のエコシステムとしてモデル化することを目指した。

4. 研究成果

研究成果として、事例から見いだされた手法を、地域づくり人材と地域ビジネス人材に分けてし、最後に、地域人材育成エコシステムのモデルと今後の政策上の展望を示す。

(1) 地域づくり人材の創出・成長要件

ため池管理と役割リデザイン

ため池管理の粗放化に伴う災害が頻発している。そこで、ため池を適切に管理できる若手人材の育成方策を導くことを目的とし、質的・量的調査をおこなった。まず、兵庫県東播磨地域における事例分析を通し、ため池管理における役割と人材配置のあり方を見直す「役割のリデザイン」の有用性を示した。その際、ため池管理を一括りに捉えるのではなく、作業領域を限定することや、水利組織だけではなく、自治会などその他の地域組織を含め、人材配置のあり方を再設計する必要性を提示した。また、ため池管理者におこなったアンケート調査より、ため池管理能力の獲得傾向を定量的に分析した。その結果、作業領域ごとで獲得傾向が異なることを明らかにするとともに、能力を獲得しづらい作業領域の特定およびその要因を考察した。これらの結果から、能力を獲得しづらい作業領域を中心に、役割のリデザインを促す支援施策の必要性を提示した。

草刈り作業とスピンオフチーム

各地でとなっている草刈り作業を担う人材の確保と育成が行われるプロセスを解明するため、多様な草刈り組織が存在する丹波篠山市の2事例を対象とした調査を行った。一つは大規模農業法人の存在が専門チームの設立を後押しした事例である結の会であり、もう一つは集落の景観維持を目的に人的ネットワークを駆使して設立された休場草刈り隊である。いずれの事例も、既存の集落活動を基盤としながらも、別組織として草刈り組織を設立していた。既存活動からスピンオフすることによって設立された組織であるため、従来の集落活動の運営にとらわれない活動内容および活動人材の確保が可能であった。一方で関係する人材の再確認やそれらの人材に対するアプローチが必須であることが両事例から示された。さらに、このようなスピンオフチ

ームが多数、同一地域内で設立されることにより、草刈り組織の設立が推進されることも示唆された。

集落営農継承と登用デザイン

島根県で最も若い組合長が経営する集落営農法人である島根県益田市の Y 法人を事例としてとりあげ、後継者を積極的に登用しながら世代交代を実現した方法を分析した。Y 法人が実施した世代交代の要点としては次の 3 点があげられた。第一に、前組合長が早期から後継者に世代交代の働きかけを行い役職やそれに応じた権限を与えるなど積極的に登用したこと、第二に、世代交代のプロセスで後継者が組合長に就任するまでは前組合長が併走しながらサポートし、後継者が組合長に就任した後も前組合長や父親が組織幹部としてサポートしたこと、第三に、前組合長は積極的に登用する過程で戦略的に経営資源を後継者に集中させていったことである。その一方で、Y 法人は小規模な集落営農法人であることから、世代交代を進める中で積極的に法人に関わる特定世帯の縁故者に権限が集中した。

地域運営組織とモチベーションデザイン

大分県宇佐市安心院町の深見地区まちづくり協議会を事例に、地域運営組織の活動参加者の動機と変化、その要因の解明を目指した。具体的には、事務局長 A 氏が女性グループ木楽の会、事務局スタッフ B 氏に対して、動機に配慮しながら意欲を高め、活動への参加を促したプロセスを整理した。そこから、地域コミュニティ型、ジョブ型、ボランティア型、サークル型の 4 つの動機の析出し、特にサークル型の動機の重要性を示し、それを設計する「モチベーションデザイン」の手法を定式化した。地域運営組織の最大の課題はリーダーやメンバー確保、住民の当事者意識の醸成であり、それらの課題解決の手法を提示した。その「モチベーションデザイン」を担う事務局の確保やスキルアップのための研修手法の確立が今後の課題のひとつである。

町並み継承と人材パイプライン

兵庫県たつの市龍野伝統的建造物群保存地区の町並み継承の取り組みに参与観察し、定期的なデプスインタビューを通じて、地域づくりリーダーの特性と地域力醸成要件の解明に取り組んだ。歴代リーダーの後退期に人脈やノウハウを退職させずに次世代リーダーに集中させることで、2015 年以降、町屋 1 軒の地区内 75 件の空き家の再生に関与し、店舗の新規出店 41 件の成果をあげていることが明らかとなった。分析の結果から、街並み継承のエコシステムとしての市民出資の不動産会社の有効性を示すとともに、世代交代を戦略的に行うことで、人材パイプラインとして機能し、地域力醸成に繋がることが示された。しかしながら、市民出資構造はスタートアップには有効であるが、街並み継承の加速に伴い、調達資金が追いつかなくなる問題があるため、資金調達面での地域力醸成要件の探索が今後の課題といえる。また、本事例以外でも市民出資型モデルの水平展開が試みられているが、追試的な事例調査をおこない本知見の拡張性や再現性を検証していく必要がある。

(2) 地域ビジネス人材の創出・成長要件

次世代育成と人材プール

島根県邑南町を事例に、食と農を軸にした人材確保と育成の仕組みの形成過程を分析した。邑南町では移住者の起業を促進するために、知識や技術を学ぶ場や育成した人材を雇用し活躍する場の提供のほか、財政支援、住民とのネットワーク構築のサポート、メンタリングなど多様な支援体制が構築されていた。知識や技術を学ぶ場である「食の学校」は人材を常に一定数プールし育成する機能を果たしていた。これらの人材は流動的であるが、地域内で必要とする所に人材を積極的に配置することで、育成を図っていた。この仕組みは邑南町の強みであり、今後の地域づくりでは外部からの人材確保のみに注力するのはなく、地域内で人材をプールする仕組みをいかにして構築するかが重要であることを示した。

起業家育成と地域密着型スクール

兵庫県丹波篠山市の人材育成システムのひとつである「篠山イノベーターズスクール」を事例とし、運営者の視点から、地域に密着している学校（学習プログラム）である「地域密着型スクール」に必要な要素やシステム、人材と地域との「結節点」としての役割を解明した。プログラムが地域の課題や素材を使った学習の場であることが大事であり、その結果、地域内の資源を活用した活動を行いながら、アクターや資源とのネットワーク構築ができ、学びながら起業に向けた離陸を行い、同時に地域とのマッチングが可能となる。一方で、人材と地域とのマッチングにおける課題もある。人材集めや人材の送り込み方に留意しながら、地域や起業希望者としてしっかり向き合うことが重要である。

起業連鎖と行政イニシアティブ

地域内で多発的に起業が広がっている岡山県西粟倉村を事例としてとりあげ、起業促進の仕組みを分析した。起業は、独創的な起業家によって生まれるものではなく、地域全体の仕組みによって促される。西粟倉村では、この 10 年の間、毎年 4、5 の起業があるが、それは、行政が主導して設立した中間支援的な組織の存在と、スタートアップ時に必要とされる経営資源の行政による提供で実現していることを明らかにした。このように起業環境が脆弱な中山間地域における、行政の重要性を改めて指摘し、行政が積極的にインキュベート機能を果たすことで、起業が起業を呼ぶ連鎖が生まれることを示した。

なりわい継承と支援リレー

新たな担い手が農山村に既にある「なりわい」を継承して、地域資源の再価値化と再活用化を

目指すものを「継業」と呼ぶ。本研究では岐阜県郡上市の継業を例に、地域内外の様々な主体が“支援”というバトンを受け継いでいく「支援リレー」を示した。地域づくりとしてのなりわいづくりに様々な主体がかかわるその具体的な行動が「支援リレー」であり、地域全体で継業を担う人材を見出すエコシステムとしても理解できる。そこには継業を促す仕掛けである制度と埋め込まれた仕組みが一つのシステムとして読み解けた。さらに個人の経験やそれからうまれた思いや「地域の物語」の上で継業を進められているという現実であったが、この部分を論理的に説明するフレームの検討が今後の課題といえよう。

(3) 人材育成エコシステムのモデル確立

以上、9つの事例分析およびそれぞれにて導かれた人材育成の手法を、食料・農業・農村基本計画に基づく政府が進める「しごと、くらし、活力」による農村振興の方針を取り込み、整理したものが図1である。

図中の円錐台の下から上に伸びる細線の矢印は、人材の動きである。本研究の個別事例分析で明らかにした9つの手法は、地域内の関わりのある人材を、地域ビジネス人材や地域づくり人材に引き上げるための仕掛けとみる。各手法に共通する特徴は、それぞれ全く新しい手法ではなく、地域の既存の仕組みに、新しい組織やプログラムや「場」を加えたり、繋げたり、外に出したりして、構造を変えたところにある。なお、地域ビジネス人材と地域づくり人材の活動量が増えることで、これまでなかった新結合、すなわちイノベーションが発生し、地域に新しい価値生み出される。つまり、「しごと」と「くらし」の人材が育つことにより、地域の「活力」が生み出される。これらの結果が図の頂点に位置させた地域の「魅力」となり、それが地域内外の新たな組織や団体のネットワーク、そして、新たに地域に関心をもつ人々の増加を促す。そして、それが、また地域人材として育成される、という循環モデルが、地域人材育成エコシステムである。

なお、食料・農業・農村政策（農政）でも地方創生政策でも、人材育成は重視されている。農政の政策文書では、最近に至るほど、「担い手」という産業政策（農業政策）に直結する言葉ではなく、多様な場面で多彩に活躍する人々である「人材」という用語の登場回数が増えている。また、人材には地域内部に限定することなく、外部人材を含める、その人材と地域の内発的発展の関係性が意識されているという新たな共通点もある。

こうした政策上の基調変化の要因には、わが国全体で進む「むら・むら格差」がある。従来のように、人口減少とともに一斉に地域活力を低下させるのではなく、一部の地域では「にぎやかな過疎」と称される、地域づくり活動が活発化した地域も見られ、むしろ地域間格差が拡大している現実がある。

そこで政策当局も含め、改めて注目されるのが人材育成である。政策的インセンティブ（補助金等）のみではなく、それを地域に応用し、オリジナルな形でそれを運用する多様な人材こそが必要になるからである。今、あらためて、人材から始まる地域の内発的発展を目指すことが求められている。つまり、それを実現する人材の育成と確保、活躍の基盤となる「エコシステム」の構築こそ、「むら・むら格差」拡大の局面における、農政や地方創生の要点となる。

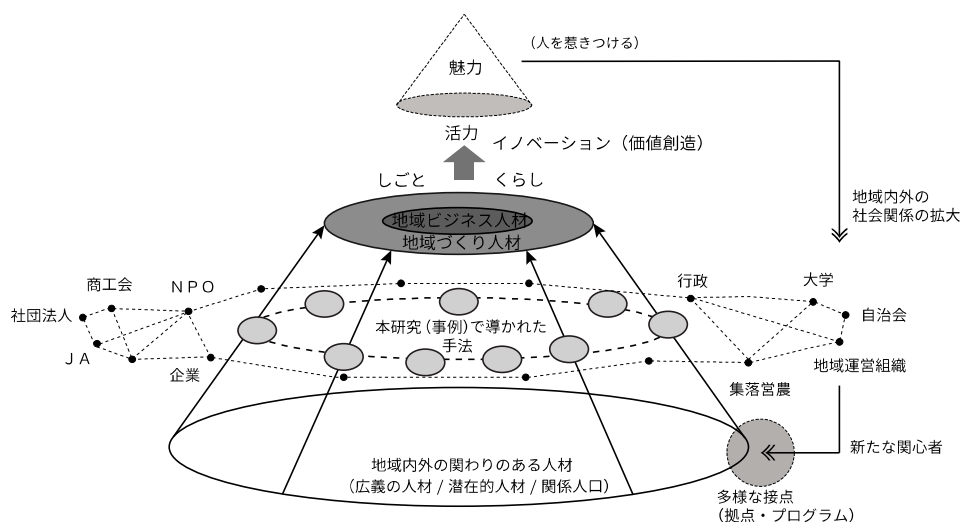


図1 地域人材育成のエコシステム

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計51件（うち査読付論文 21件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 22件）

1. 著者名 柴崎浩平, 中塚雅也, 内平隆之, 星野敏	4. 巻 39(論文特集号)
2. 論文標題 都市近郊のため池管理における次世代の人材確保の方法: 管理作業環境のデザインに着目して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 175-182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2750/arp.39.175	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 筒井一伸	4. 巻 673
2. 論文標題 食料・農業・農村基本計画と農村地域政策 そのポイントと空間スケール	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 協同組合経営研究誌にじ	6. 最初と最後の頁 14-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 木原奈穂子, 中塚雅也	4. 巻 56(2)
2. 論文標題 集落における畦畔管理請負の組織づくりと展望	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農林業問題研究	6. 最初と最後の頁 70-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7310/arfe.56.70	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 内平隆之, 中嶋一憲	4. 巻 86(790)
2. 論文標題 孤独予防に資する社会的処方のある方 その2: 兵庫県福崎町駅前マルシェ来場者調査に基づいた地域キャリアドリフトの可能性	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 2643-2653
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.86.2643	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 内平隆之, 中島一憲	4. 巻 86(784)
2. 論文標題 孤独予防に資する社会的処方のある方 その1: 駅前マルシェの可能性	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 2169-2178
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.86.1652	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高田晋史, 柴崎浩平, 中塚雅也	4. 巻 57(4)
2. 論文標題 中山間地域の集落営農法人における世代交代のプロセス: 鳥根県Y法人を事例として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 農林業問題研究	6. 最初と最後の頁 152-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7310/arfe.57.152	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小林悠歩, 筒井一伸	4. 巻 39(4)
2. 論文標題 関係人口受け入れの地域側要素の検討 経験知からの抽出と受け入れ実態調査から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 394-404
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2750/arp.39.394	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村怜詞, 宮地忠幸, 久保田豊和, 中島正裕, 菊池雅彦, 中川秀一, 中塚雅也, 筒井一伸	4. 巻 39(4)
2. 論文標題 地元人材育成からの地方創生	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 405-418
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2750/arp.39.405	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小西信義・筒井一伸	4. 巻 37
2. 論文標題 コロナ禍における雪かきボランティア 受入の意向に関するアンケート調査結果	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本雪工学会誌	6. 最初と最後の頁 64-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 筒井一伸	4. 巻 52(7)
2. 論文標題 「農山村消滅の危機」は本当か!? 都会vs田舎の構図を超えた先に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 望星	6. 最初と最後の頁 19-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 東根ちよ・長曾我部まどか・筒井一伸	4. 巻 27
2. 論文標題 地域づくりワークショップ研究における対話主体と主題の特徴 計量テキスト分析を用いて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本地域政策研究	6. 最初と最後の頁 80-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32186/ncs.27.0_80	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 筒井一伸	4. 巻 67(3)
2. 論文標題 書評 立見淳哉・長尾謙吉・三浦純一編『社会連帯経済と都市 フランス・リールの挑戦』ナカニシヤ出版	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済地理学年報	6. 最初と最後の頁 195-199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20592/jaeg.67.3_195	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 筒井一伸・渡辺理絵	4. 巻 66(10)
2. 論文標題 里山と田園回帰 関係をひらく「ふるさと資源」試論	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地理	6. 最初と最後の頁 46-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 筒井一伸	4. 巻 73(4)
2. 論文標題 書評 田中輝美著『関係人口の社会学 人口減少時代の地域再生』大阪大学出版会	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人文地理	6. 最初と最後の頁 496-497
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4200/jjhg.73.04_496	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 津田有梨花・中塚雅也・木原奈穂子	4. 巻 92(4)
2. 論文標題 地域在来の醤油製造業の実態と構造的問題：兵庫県下の事例分析を基にして	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 農業経済研究	6. 最初と最後の頁 377-382
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11472/nokei.92.377	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 木原奈穂子・中塚雅也	4. 巻 93(1)
2. 論文標題 集落共同作業組織の会計管理手法に関する一考察：コミュニティ連帯会計の確立にむけて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 農業経済研究	6. 最初と最後の頁 71-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11472/nokei.93.71	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小林 悠歩, 中塚 雅也	4. 巻 58(2)
2. 論文標題 農山村における外部人材の継続的な協働を促す働きかけ：福井県越前町熊谷区の事例から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 農林業問題研究	6. 最初と最後の頁 67-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7310/arfe.58.67	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山浦陽一	4. 巻 35
2. 論文標題 地域福祉型地域運営組織の総合化と支援の課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 農業研究：日本農業研究所研究報告	6. 最初と最後の頁 223-252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 筒井一伸・小西信義・尾原浩子	4. 巻 31
2. 論文標題 農業除雪を考える 北海道における調査結果から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 JCA研究レポート	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 筒井一伸	4. 巻 113
2. 論文標題 継業がつくる農山村の未来	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 15-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木原奈穂子	4. 巻 354
2. 論文標題 「よい仕事」を通したコミュニティづくりとその意義：第23分散会（特集 協同労働・よい仕事研究交流 全国集会2022報告 - 労働者協同組合法第1条（目的）を体現する）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 所報協同の発見	6. 最初と最後の頁 104-106
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木原奈穂子	4. 巻 357
2. 論文標題 「草刈り」を通したコミュニティ形成（特集 協同労働研究の深化～研究者と実践者を結んだ協同研究が はじまる～）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 所報協同の発見	6. 最初と最後の頁 22-27
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shuai WANG, Shinji TAKADA, Masaya NAKATSUKA	4. 巻 3(1)
2. 論文標題 Entrepreneurial Process and a Supportive System for External Entrepreneurs in Poverty-Stricken Rural Areas	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Rural Planning Studies	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.7310/arfe.54.25	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 筒井一伸	4. 巻 30
2. 論文標題 地域運営組織と新しいコミュニティ 期待される機能と担い手の射程	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本地域政策研究	6. 最初と最後の頁 92-97
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.32186/ncs.30.0_92	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 木原奈穂子, 中塚雅也	4. 巻 91 (4)
2. 論文標題 地域における畦畔管理作業受託の実態と展開課題: 兵庫県丹波篠山市を事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農業経済研究	6. 最初と最後の頁 431-436
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 酒井扶美, 立見淳哉, 筒井一伸	4. 巻 15(1)
2. 論文標題 農山村における移住起業のサポート実態: 兵庫県丹波市を事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 E-journal GEO	6. 最初と最後の頁 14-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4157/ejgeo.15.14	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山浦陽一	4. 巻 32
2. 論文標題 中山間地域の集落営農法人の現状と展望: 定点観測(2-2)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 農業研究	6. 最初と最後の頁 333-360
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山浦陽一	4. 巻 110(5)
2. 論文標題 地域運営組織と自治体のかかわり方	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 65-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内平 隆之・中桐 斉之・安枝 英俊	4. 巻 84(764)
2. 論文標題 まちあるき支援における選択のパラドックス	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 2157-2164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.84.2157	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴崎浩平	4. 巻 57(2)
2. 論文標題 兵庫県下における新規就農者の定着傾向: 就農形態の違いに着目して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 農業経営研究	6. 最初と最後の頁 35-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴崎浩平	4. 巻 38(3)
2. 論文標題 ため池管理における市民参加の限界と展望: 東播磨フィールドステーションの取り組みを事例として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 341-344
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田切徳美	4. 巻 215
2. 論文標題 ふるさと納税と地域づくり	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ガバナンス	6. 最初と最後の頁 97-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田切徳美	4. 巻 220
2. 論文標題 過疎地域の役割と新しい対策	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ガバナンス	6. 最初と最後の頁 14-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田切徳美	4. 巻 27 (1)
2. 論文標題 関係人口と国土形成	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 土地総合研究	6. 最初と最後の頁 19-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小田切徳美	4. 巻 67 (9)
2. 論文標題 人口減・人材増の「にぎやかな過疎」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 AFCジャーナル	6. 最初と最後の頁 3-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田切徳美	4. 巻 632
2. 論文標題 「関係人口」の意味と意義	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地域開発	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田切徳美	4. 巻 86 (3)
2. 論文標題 農村政策の空洞化	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農業と経済	6. 最初と最後の頁 107-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木原奈穂子	4. 巻 57 (3)
2. 論文標題 新規就農者の生産資材調達時の取引条件が果たす役割：兵庫県における野菜作経営を事例として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 農業経営研究	6. 最初と最後の頁 65-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木原奈穂子	4. 巻 324
2. 論文標題 丹波篠山市と神戸大学との連携による人材育成と地域づくり	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 協同の発見	6. 最初と最後の頁 29-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚雅也	4. 巻 628
2. 論文標題 尼崎市における在来種保全活動と都市・農業の展開方向	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地域開発	6. 最初と最後の頁 45-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 眞鍋邦大・中塚雅也	4. 巻 32
2. 論文標題 産直ビジネスにおけるプラットフォーム化の動きとその設計	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 環境情報科学論文集	6. 最初と最後の頁 95-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11492/ceispapers.ceis32.0_95	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 眞鍋邦大・中塚雅也	4. 巻 37 (論文特集号)
2. 論文標題 産地と外食企業の連携による飲食店事業の展開と課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 176-182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 眞鍋邦大・中塚雅也	4. 巻 54(3)
2. 論文標題 地域連携による飲食店事業の展開と課題解決 - 神戸市W社と土佐清水市の連携を事例として -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 農林業問題研究	6. 最初と最後の頁 149-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7310/arfe.54.149	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴崎浩平・中塚雅也	4. 巻 54(2)
2. 論文標題 地域おこし協力隊のリアリティ・ショックと克服過程	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 農林業問題研究	6. 最初と最後の頁 25-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7310/arfe.54.25	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高田晋史・中塚雅也	4. 巻 37 (論文特集号)
2. 論文標題 農家楽の業務外部化とビジネスエコシステムの形成 - 中国北京市怀柔区官地村を事例として -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 252-257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 筒井一伸	4. 巻 627
2. 論文標題 地域づくりとしての継業 - なりわいと農山村を継ぐ挑戦 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地域開発	6. 最初と最後の頁 6-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田切徳美	4. 巻 64(2)
2. 論文標題 特集事例から考える 島の「しごと」づくりとその課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 しま	6. 最初と最後の頁 57-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田切徳美	4. 巻 96(18)
2. 論文標題 少数でもインパクト大の田園回帰	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 エコノミスト	6. 最初と最後の頁 82-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴崎浩平	4. 巻 85(5)
2. 論文標題 農村における外部人材のニーズと就農促進	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 農業と経済	6. 最初と最後の頁 57-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山浦陽一	4. 巻 31号
2. 論文標題 中山間地域の水田農業の多様な担い手: 定点観測(1-2)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 農業研究	6. 最初と最後の頁 309-331
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山浦陽一	4. 巻 49号
2. 論文標題 農地中間管理事業の課題と模索	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 土地と農業	6. 最初と最後の頁 170-176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計31件 (うち招待講演 3件 / うち国際学会 4件)

1. 発表者名 高田晋史, 柴崎浩平, 中塚雅也
2. 発表標題 中山間地域における集落営農法人の人材確保と事業継承プロセス: 鳥根県益田市Y法人を事例として
3. 学会等名 第70回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 WANG Shuai, NAKATSUKA Masaya, TAKADA Shinji
2. 発表標題 Poverty Alleviation though College Student's Entrepreneurship in China: Case Study of Planting Cooperative S
3. 学会等名 第70回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高橋諄, 中島正裕, 新田将之, 柴崎浩平, 外山史也, 赤坂宗光
2. 発表標題 ため池の水生物と管理・利用状況の関係性に関する研究-兵庫県明石市・加西市を事例に-
3. 学会等名 2020年度農村計画学会春季大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 柴崎浩平, 中塚雅也, 内平隆之, 星野敏
2. 発表標題 都市近郊のため池管理における次世代の人材確保の方法-管理作業環境のデザインに着目して-
3. 学会等名 2020年度農村計画学会秋季大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 筒井一伸
2. 発表標題 農山村をつなぐ「継業」 「なりわい」を継ぐということ
3. 学会等名 2021年 第35回 自治体学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡辺理絵, 筒井一伸
2. 発表標題 コミュニティを主体とした竹林の「ふるさと資源化」の動き - 山形県庄内地方の放任竹林問題を例に -
3. 学会等名 東北地理学会春季学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 筒井一伸, 渡辺理絵
2. 発表標題 「コミュニティ」の機能再編と資源活用 山形県鶴岡市三瀬地区を事例に
3. 学会等名 2021年度地理科学学会春季学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木原奈穂子
2. 発表標題 集落会計の実態とその現代的な役割の考察 - 鳥取県日南町の集落会計を事例として -
3. 学会等名 2020年度日本農業経済学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木原奈穂子
2. 発表標題 集落の運営に資する会計のあり方に関する考察 - 中山間地域にあたる鳥取県日南町の集落会計を事例として -
3. 学会等名 第71回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安部 梨杏, 中塚 雅也
2. 発表標題 若手コーディネーターと住_の実践学習型地域づくりの方法:大分県竹田市明治地区の地域運営組織設立を事例として
3. 学会等名 農村計画学会 2022年度秋期大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安部 梨杏, 中塚 雅也
2. 発表標題 地域運営組織設立促進における自治体の対応と支援課題: 大分県内の市町村を事例に
3. 学会等名 第72回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小林 悠歩, 中塚 雅也
2. 発表標題 他出者が出身地の地域役員を担う動機の解明:京都市右京区京北鳥居町を事例として
3. 学会等名 第72回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柴崎浩平, 中塚 雅也, 野村 久子
2. 発表標題 ため池管理能力の獲得とその傾向に関する一考察
3. 学会等名 2022年度日本農業経済学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木原奈穂子
2. 発表標題 草刈り組織の類型化とその特徴に関する考察 - 西日本の草刈り組織を対象に -
3. 学会等名 令和3年度日本農業経営学会研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木原奈穂子
2. 発表標題 農村地域の営農体制に会計が与える影響 - 中山間地域等特別支払制度の運用を事例に -
3. 学会等名 第72回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安部 梨杏, 中塚 雅也
2. 発表標題 自治体職員による地域運営組織設立ワークショップの運営とその支援 : 大分県佐伯市におけるOJTをかねた取組を事例に 織設立を事例として
3. 学会等名 第11回アジア農業経済学会国際会議 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岡久 花衣, 中塚 雅也
2. 発表標題 地域食文化の継承発展における移住起業者の役割: 兵庫県丹波篠山市を事例地域として
3. 学会等名 第11回アジア農業経済学会国際会議 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 柴崎浩平, 中塚雅也, 内平隆之, 星野敏
2. 発表標題 ため池管理における技能とその継承方法：水入れ作業に着目して
3. 学会等名 第69回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木原奈穂子, 中塚雅也
2. 発表標題 集落における畦畔管理請負の組織づくりと人材育成
3. 学会等名 第69回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 谷川智穂, 中塚雅也
2. 発表標題 農村移住者による起業の空間的特徴と影響要因
3. 学会等名 第69回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚雅也
2. 発表標題 地方社会における日本人IJU者との共生
3. 学会等名 共生社会システム学会2019年度大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wang SHUAI , Masaya NAKATSUKA , Shinji TAKADA
2. 発表標題 Rural Business Incubator for College Student Village Official in China
3. 学会等名 農村計画学会2019年度春期大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田晋史・中塚雅也
2. 発表標題 中国における農家楽の発展とビジネスエコシステムの形成 - 北京市怀柔区官地村を事例として -
3. 学会等名 農村計画学会2018年度春期大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高田晋史・中塚雅也
2. 発表標題 農家楽の業務外部化とビジネスエコシステムの形成 - 中国北京市怀柔区官地村を事例として -
3. 学会等名 農村計画学会2018年度秋期大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柴崎浩平
2. 発表標題 兵庫県下における新規就農者の定着傾向 - 就農形態の違いに着目して -
3. 学会等名 平成30年度日本農業経営学会研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木原奈穂子・中塚雅也
2. 発表標題 畦畔管理受託組織の運営管理と展開課題 - 兵庫県丹波篠山市を事例として -
3. 学会等名 日本農業経済学会2019年度大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤波輝・中桐齊之・内平隆之
2. 発表標題 ドローンと全天球カメラを用いた地域観光PRの有効性についての比較検証
3. 学会等名 情報処理学会第81回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山浦陽一
2. 発表標題 農地所有・利用と担い手問題 - 農地中間管理事業の中間的総括を踏まえて -
3. 学会等名 2019年度農業問題研究学会春期大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 眞鍋邦大・中塚雅也
2. 発表標題 産地と外食企業の連携による飲食店事業の展開と課題
3. 学会等名 農村計画学会2018年度秋期大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 LI JI, NAKATSUKA Masaya
2. 発表標題 Farmers Consciousness of Inbound Tourism in Rural Community in Japan
3. 学会等名 Asian Rural Sociology Association International Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shuai Wang, NAKATSUKA Masaya, TAKADA Shinji
2. 発表標題 Endowment Establishing Model of University-Graduated Village Official (UGVO) in China: Case study in Binzhou University
3. 学会等名 World Social Science Forum 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計20件

1. 著者名 小田切徳美	4. 発行年 2021年
2. 出版社 農山漁村文化協会	5. 総ページ数 319
3. 書名 農村政策の変貌	

1. 著者名 小田木徳美「みどりの食料システム戦略」の担い手像」大杉立他24名	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本学術協力財団	5. 総ページ数 289
3. 書名 日本の食卓の将来と食料生産の強靱化について考える	

1. 著者名 農山漁村文化協会編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 農山漁村文化協会	5. 総ページ数 134
3. 書名 どう考える？「みどりの食料システム戦略」	

1. 著者名 筒井一伸, 小林 悠歩編著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 筑波書房	5. 総ページ数 135
3. 書名 若者を地域の仲間に！秘訣をつかむハンドブック	

1. 著者名 長曾我部まどか, 筒井一伸監修	4. 発行年 2021年
2. 出版社 今井出版	5. 総ページ数 72
3. 書名 みんなでつくるまちづくりワークショップ ファシリテーションの「かきくけこ」	

1. 著者名 筒井一伸「農村政策と食農政策を結ぶ」『農業と経済』編集委員会編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 英明企画編集	5. 総ページ数 320
3. 書名 季刊『農業と経済』2021年夏号	

1. 著者名 小田切徳美「農村の内発的発展」廣政幸生編著	4. 発行年 2022年
2. 出版社 筑波書房	5. 総ページ数 278
3. 書名 持続可能性と環境・食・農	

1. 著者名 小田切徳美編著	4. 発行年 2022年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 242
3. 書名 新しい地域をつくる - 持続的農村発展論 -	

1. 著者名 中塚 雅也, 山下 良平, 斎尾 直子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 筑波書房	5. 総ページ数 306
3. 書名 農村計画研究レビュー2022	

1. 著者名 山浦陽一, 筒井一伸	4. 発行年 2022年
2. 出版社 筑波書房	5. 総ページ数 62
3. 書名 地域福祉における地域運営組織との連携	

1. 著者名 中塚雅也・山浦陽一編著	4. 発行年 2022年
2. 出版社 農山漁村文化協会	5. 総ページ数 276
3. 書名 地域人材を育てる手法	

1. 著者名 中国山地編集舎編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 中国山地編集舎	5. 総ページ数 180
3. 書名 みんなでつくる中国山地2022生業号	

1. 著者名 深山陽一朗・木原奈穂子「投資・資金調達に関わる経営者職能と支援の新たなかたち：食と地域を支える農業ビジネスの新しいかたち」『農業と経済』編集委員会編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 英明企画編集	5. 総ページ数 244
3. 書名 季刊『農業と経済』2022年春号	

1. 著者名 河村律子, 中村均司, 中村貴子, 高田晋史	4. 発行年 2023年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 176
3. 書名 共感の農村ツーリズム：人の流動・経済循環を創りたい	

1. 著者名 木原奈穂子著・筒井一伸監修	4. 発行年 2023年
2. 出版社 今井出版	5. 総ページ数 60
3. 書名 農村地域の仕事と働き方 「らしさ」を活かす働き方の最前線	

1. 著者名 田代 洋一, 田畑 保, 田代 洋一, 田畑 保, 磯田 宏, 久野 秀二, 安藤 光義, 小田切 徳美, 坂下 明彦	4. 発行年 2019年
2. 出版社 筑波書房	5. 総ページ数 323
3. 書名 食料・農業・農村の政策課題	

1. 著者名 椎川忍・小田切徳美等編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 農山漁村文化協会	5. 総ページ数 344
3. 書名 地域おこし協力隊10年の挑戦	

1. 著者名 小田切徳美(日本生命財団編)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 268
3. 書名 人と自然の化環境学	

1. 著者名 小田切徳美・内平隆之・筒井一伸・高田晋史・柴崎浩平（中塚雅也編著）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 神戸大学出版会	5. 総ページ数 288
3. 書名 農業・農村の資源とマネジメント	

1. 著者名 中塚雅也（小田切徳美監修）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 筑波書房	5. 総ページ数 63
3. 書名 拠点づくりからの農山村再生	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小田切 徳美 (ODAGIRI Tokumi) (10201998)	明治大学・農学部・専任教授 (32682)	
研究分担者	内平 隆之 (UCHIHIRA Takayuki) (70457125)	兵庫県立大学・地域創造機構・教授 (24506)	
研究分担者	山浦 陽一 (YAMAURA Yoichi) (20462260)	大分大学・経済学部・准教授 (17501)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	筒井 一伸 (TSUTSUI Kazunobu) (50379616)	鳥取大学・地域学部・教授 (15101)	
研究分担者	木原 奈穂子 (KIHARA Nahoko) (40839916)	鳥取大学・農学部・講師 (15101)	
研究分担者	高田 晋史 (TAKADA Shinji) (90739781)	神戸大学・農学研究科・助教 (14501)	
研究分担者	柴崎 浩平 (SHIBAZAKI Kohei) (60822046)	神戸大学・農学研究科・特命助教 (14501)	
研究分担者	鶴田 宏樹 (TSURUTA Hiroki) (20346282)	神戸大学・学術・産業イノベーション創造本部・准教授 (14501)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関